

奈留高校と議員との意見交換会 概要

○参加者 議員：堀江ひとみ議員、清川久義議員 生徒：2年生 2名、1年生 2名

○発表テーマ：島の命をつなぐ医療

○意見交換会要旨

(清川久義議員)

本日の発表、大変お疲れさまでした。私も9月議会の一般質問で、この問題を取り上げました。今回発表があった海上タクシーについて、なぜ経営が厳しくなったのかというと、以前、北海道で発生した遊覧船事故をきっかけに、船舶設備の整備や運行管理者の配置など、国の規制が厳しくなったことが背景にあります。特に、運行管理者の試験は合格率が低く、免許の取得が難しい状況です。こうした要因により、事業の継続が困難になっていると伺っています。

(堀江ひとみ議員)

今回の提案は、離島医療の人材確保や予防医療の推進など、離島だけでなく、日本全体の医療課題に関わる重要なテーマだと感じました。長崎県では病院企業団を通じて医師・看護師の確保に努めていますが、離島医療は依然厳しい状況です。海上タクシーの問題も含め、国・県・市が連携し、補助金や交付金を活用した公共的な仕組みづくりが必要だと考えています。

(生徒)

先ほど、船の維持費がかかることに加え、免許取得も難しいと言われましたが、国はそのことに対する支援をする気はないのでしょうか。

(清川久義議員)

現在規定されている船舶設備を設置しないことや、運航管理者の試験を簡易化することは、運航の安全を確保するため、国としても変更は難しいと思います。

ただ、船舶設備導入のための補助金などについては、今後、予算措置の中に組み込んでいただけるよう、国へ要望活動を行っているところです。

(生徒)

看護師や保健師の確保がどこの病院でも問題となっていて、五島でも常勤の保健師が来年から非常勤になってしまう。保健師免許は看護師免許取得してからじゃないと取得できないことも、保健師の数が減ってきている要因だと感じています。五島で保健師免許まで取れたらいいなって思います。

(清川久義議員)

今、五島高校の看護科では准看護師免許までは取得できますが、正看護師免許までは取得できない。今後、五島高校で正看護師免許まで取得できるようになれば、地元に残る方も多くなると思うので、私も県の方とも話していきたいと思います。

(生徒)

保健師免許の取得が難しいことも踏まえると、離島で勤務している保健師の給与をもっと引き上げる必要があるのではないかと思います。以前、保健師の方にお話を伺った際、あまり高い給与ではないとおっしゃっていました。

(生徒)

予防医療に関して、市の取り組みの広報とか周知だったら高校生でもできかなと感じていて、そういったお手伝いができたらいいなと思います。

(堀江ひとみ議員)

良いアイデアだと思います。高校生はPRが得意ですし、商店街では地元の高校生と連携してさまざまなイベントを実施している事例もあります。奈留支所に相談に行き、「何かできることはありませんか」と提案してみるのも良いのではないのでしょうか。

(生徒)

認知症ケアについて、「なるの里」では現在、認知症患者の受け入れが難しい状況となってきていますが、今後、認知症患者を受け入れない状況になることは、絶対避けないとはいけないと考えています。

(堀江ひとみ議員)

認知症には軽度から重度まで段階があるため、「なるの里」がどのレベルまで受け入れ可能な体制なのかが重要だと思います。認知症の程度によって、配置する職員数なども変わってくるので、これは五島市全体の課題にも関わる、非常に難しい問題だと思います。「なるの里」や奈留支所の担当課に一度お話を伺い、現状を把握するといった取り組みをしてはどうでしょうか。